

未来へつなぐ、持続可能な食育・食農・共育とは！「未来へつなぐ食育の和」

- 本事業は、食育に関心を持つことや地域の食文化を継承していくことの必要性の認知度を高め、栄養バランスに配慮した食生活の実践等を推進する、「あいち食育いきいきプラン2025」の柱の一つである「食を通じて豊かな心を育む」ことを活動目標に、下記の取り組みを実施した。
- 「未来へつなぐ、食生活と農業に関するシンポジウム2022 in にっしん」を開催した。「未来へつなぐ、持続可能な食育・食農・共育とは」をテーマとし、ドキュメンタリー上映会・講演会・パネルディスカッションを行った。心身ともに健康で豊かに暮らすためには、日々の食生活は極めて重要であることや地元でとれる旬の食材の活用、栄養バランスに配慮した食生活の実践は不可欠であることを伝えた。

愛知県
日進市



【取組の内容】

未来へつなぐ、食生活と農業に関するシンポジウム2022 in にっしん
～未来へつなぐ、持続可能な食育・食農・共育とは～ の開催

- ①『もったいないキッチン』のドキュメンタリー上映会。
- ②長野県立大学 食健康学科 教授 中澤弥子氏による「次世代へつなぐ食文化と食育・食農共育」をテーマとした講演。
- ③中澤弥子氏、日進アグリスクール受講生、教育ファーム検討委員、愛知県立大学インターンシップ生、当会理事長によるパネルディスカッションを「未来へつなぐ、持続可能な食育・食農・共育とは」をテーマに実施。
- ④愛知県立大学インターンシップ生による日進アグリスクールの受講体験談発表。
- ⑤米や野菜の栽培工程パネルの展示と説明。
- ⑥日進アグリスクールで栽培した農薬等不使用の里芋配布。



もったいないキッチン上映会



中澤弥子先生



パネルディスカッション

【取組の成果】

- シンポジウムにて、各ライフステージにおける食生活の課題や地域農産物の現状を伝えた結果、毎日の食事や充実した食生活が生産者をはじめ、多くの関係者により支えられていることや食により、健全な心身を培うことの大切さを知り、食に対する感謝を深める機会となった(参加者:県民82名)。
- 中澤弥子氏の講演を通じて、海外の食育教育や伝統料理の継承について学ぶことができ、地域の食文化の継承の重要性を啓発することができた。
- 食の安全に関する正しい知識を持ち、バランスのとれた規則正しい日本型食生活を実践することが健康な身体をつくるという認識が向上した。(実施前48.6%→目標値52.0% 実績89.2% 達成率171.4%)
- 地域の農産物や食品に関心を持つ県民が増えた。(実施前75.7%→目標値78.2% 実績91.9% 達成率117.4%)



日進アグリスクールの写真展示



栽培工程パネルの展示



アグリスクールで収穫した里芋